



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和 8 年 3 月 13 日発行第 24 号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



ファンファーレ

校 長 武井 正明

今の新潟県球児の皆さんは信じられないだろうが、その昔、新潟県は「野球後進県」と呼ばれた。

忘れられない場面がある。私が小学校 3 年頃、新潟代表は甲子園で、エラーを重ね初戦で敗退した。これはいつものことだ。1 勝したら大騒ぎの時代だった。しかし、私が最もショックだったのは、当時の解説者の「キャッチボールからやり直した方がいい」という屈辱的な言葉だった。私は新潟県がバカにされたようで、子ども心に本当に悔しかった。

だから、新潟県の野球の歴史とは「負け犬根性との戦い」と言っている。そして 2009 年、日本文理が準優勝したことで、県民の溜飲は下がった。長い負の歴史とようやく決別し、新潟県の野球界は、大きく躍進の道を歩みだしたのだ。

それから 17 年後 2026 年 1 月 30 日 新潟の球史を変える大快挙が発表された。

春のセンバツに、新潟県から、なんと 2 校も出場することが決まったのだ。

日本文理と帝京長岡が、秋の北信越大会の決勝戦に残り、上位 2 校として、堂々実力で甲子園の切符をもぎ取ったのである。

更に誇らしいのは、日本文理の中軸打者が、わが吉中卒業生であることだ。

彼には「西蒲の雄」吉中の「希望の光 空に仰ぎ 強くわれらは 磨き鍛えん」を胸に、夢の舞台で思い切り暴れてきてほしい。吉中関係者、みんなで応援している。

2023 年 WBC 決勝前に、大谷翔平は「あこがれるのをやめましょう」と檄を飛ばした。

新潟県の球児たちも、甲子園で他県の強豪を倒すために、日々練習を重ねているはずだ。

だから、あこがれている場合ではない。私が甲子園での二校に期待する姿は、全国の強豪を次々となぎ倒していった日本文理のそれだ。初陣は 21 日。もう待ちきれない。

思い描く結果にならずとも下を向く必要はない。球児たちには、まだ夏も残っている。球児たちの夢は、まだ始まったばかりだ。

吉中の後輩たちよ、先輩たちに続け!! 君たちが甲子園のグラウンドに立つ時、私は必ずスタンドで声を枯らしているはずだ。

～上手くやれなくたっていいんだよ そのまま生きていきなさい 行きなさい♪

2/18(水)~20(金) 2年生修学旅行 一期一会の旅、大満喫!!



3/6(金)第79回卒業式



令和8年度4月の主な行事

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 8(水) 1学期始業式 | 16(木) オリエンテーション集会②・1年交通安全講話 |
| 9(木) 入学式(午前) | 17(金) 全校朝会 |
| 10(金) 身体計測 | 21(火) 評議会・専門委員会 |
| 13(月) 真和会入会式 | 27(月) 部活動集会 |
| 14(火) オリエンテーション集会①仮入部 | 30(木) 議案書審議(6限) |

